

# ライフル射撃で全国大会へ



全国大会に出場する藤原唯羽さん(左)と猶原宏海さん=千種高校

## 千種高に入って始めた女子部員2人

愛知県山間部にある県立千種高校。全校生徒約110人、1学年1学級の学校に、ライフル射撃部がある。県内トップクラスの実力で、5月にあった県高校総体ライフル射撃で上位に入った女子部員2人が、今月28日に広島県安芸太田町である全国大会に出場する。

県総体では、県内4校から男女混合の39人が参加したチームライフルの部門で、いずれも3年の猶原宏海さんが女子の2位(全体3位)、藤原唯羽さんが同3位(同7位)になった。チームライフル競技は、弾の代わりに光線を発射する。重さ5キログラムほどのライフル銃で10メートル先の的をねらい、約1メートルの中心(10・9点)からの距離により得点が決まる。県総体では45分間の制限時間で60発を撃って点数を競った。同校には10年以上前からライフル射撃部(同好会)があり、全国大会にも選手が次々に出場。同校の部活

## 猶原さん「運動は苦手」 藤原さん 中学時は柔道

の中でも人気が高く、今も24人の部員たちが練習している。

猶原さんは昨年に続き2度目の出場。「運動は苦手」と言い、高校入学までは運動部などの経験はなかったが、「がんばれば全国大会に出られるかも」とライフル射撃部に入部した。「おとなしい性格」だが、顧問によると「負けん気は強い」。

ベストスコアは部員の中で一番の625・6点。県総体では604・1点で女子2位に入ったが、「1位を狙っていたので、うれしさはなかった。全国大会では高得点をねらいたい」。

キャプテンを務める藤原さんも高校からライフル射撃を始めた。中学時代は柔道をしてきたが、「違うスポーツをしたくて」入部した。間髪入れず引き金を引き続ける「早撃ち」スタイルだ。

県総体では、45分のうち9分ほどで規定の60発を撃ち、周りを驚かせたという。40発で競う全国大会では、「410点を目指したい」と意気込む。(伊藤周)